千葉県

—新風土記—

岩波写真文庫 173

千葉県
173

千葉県全図

凡例

- 県界
- 郡市界
- 国鉄
- 私鉄
- 国道
- 県道
- 市街
- 寺院
- 名所
- 灯台

0 5 10 15 20 25km

江戸川鉄橋，東京・千葉を結ぶ千葉街道

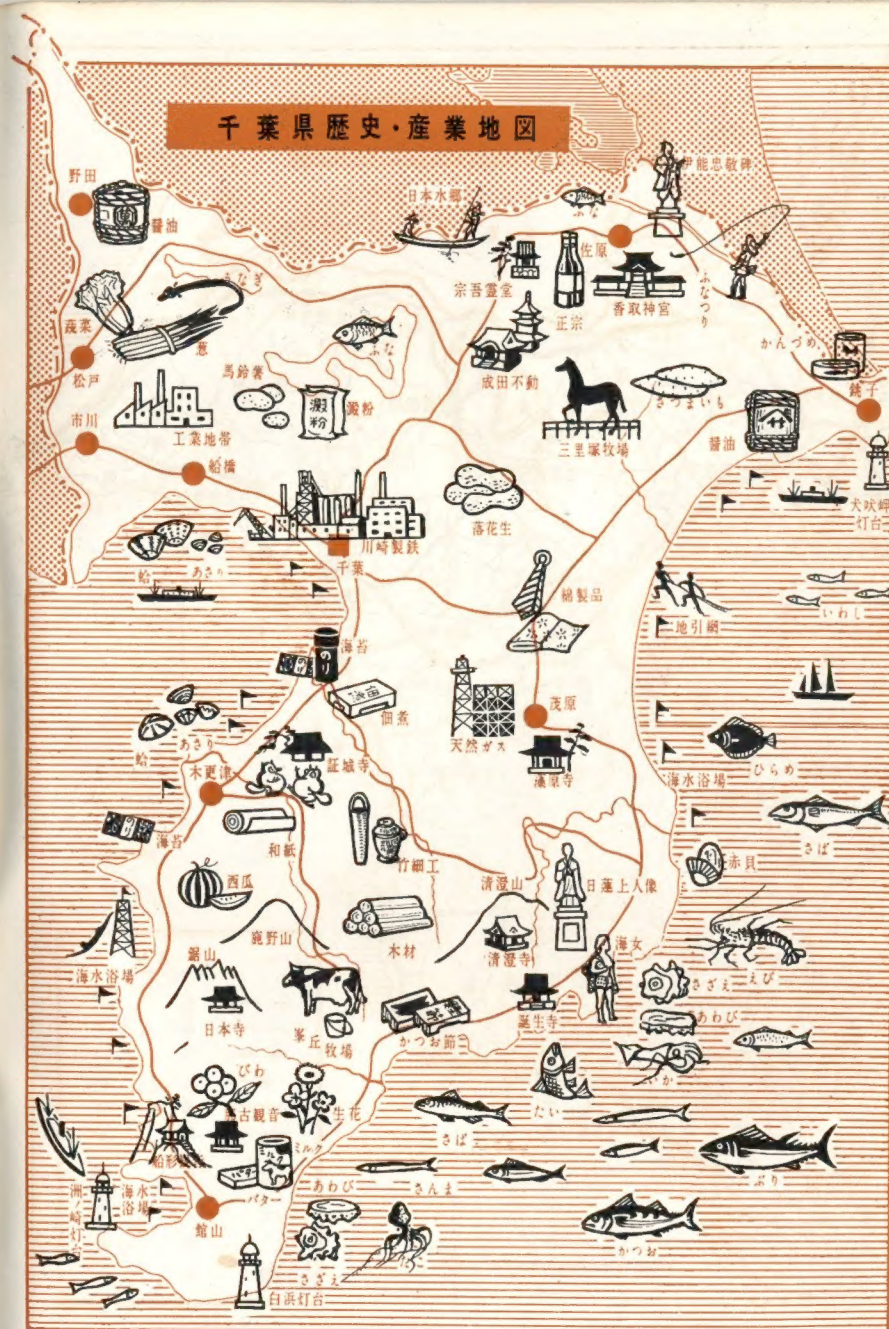
はじめに

安房・上総と下総の大部分が千葉県である。この半島の西側は東京湾に面し、南東は太平洋に接して、黒潮が岸を洗っている。「鮭(酒)は銚子限り」という洒落があるが、親潮に乗ってくる鮭も黒潮との接触点までしか来ないという意味だ。海の幸とともに温暖な気候は農産物を豊富に出す。それは東京都民の生活に重要なものだ。夏の海水浴、冬の避寒、観光地であるだけでなく、この半島にはなにかしら暖いものがゆたかにあるようだ。

目　次

定価100円 1955年12月25日 第1刷発行 1958年6月20日 第3刷発行 © 発行者 岩波雄二郎 印刷者 米屋勇 印刷所 東京都港区芝浦2ノ1 半七写真印刷工業株式会社 製本所 永井製本所 発行所 東京都千代田区神田一ツ橋2ノ3 株式会社岩波書店

千葉県歴史・産業地図

野田　醤油　日本水郷　ふな　伊能忠敬像　佐原　宗吾霊堂　香取神宮　正宗　ふなつり　かんづめ　銚子　蔬菜　松戸　うなぎ　葱　馬鈴薯　澱粉　成田不動　さつまいも　三里塚牧場　醤油　市川　工業地帯　船橋　落花生　犬吠岬灯台　蛤　あさり　川崎製鉄　千葉　綿製品　地引網　いわし　海苔　佃煮　天然ガス　茂原　藻原寺　証城寺　木更津　海苔　和紙　竹細工　清澄山　日蓮上人像　赤貝　ひらめ　海水浴場　さば　西瓜　鹿野山　木材　清澄寺　鋸山　日本寺　峯丘牧場　かつお節　誕生寺　海女　さざえ　えび　あわび　いか　びわ　那古観音　生花　ミルク　バター　たい　さんま　ぶり　かつお　洲崎灯台　館山　白浜灯台

千葉県は、日本列島のほぼ中央、房総半島の全域を占めている。海岸線延長三七七粁、総面積五、〇七五平方粁、人口一六〇万。東京から県庁所在地千葉までは国電で一時間たらずでつく。総武線沿線は東京の住宅地として拡大しつつある。房総海岸は海水浴、潮干狩など東京からのレクリエーションの客で賑っている。東京が寒さに震えているとき房総南部の無霜地帯は水仙の花が咲く程の暖かさだ。利根川下流の低湿地は日本水郷の名で観光客をあつめている。米・甘藷・落花生を主とした農業は東京の補給源となり、米は年に二〇〇万石といい、その他一三万石の牛乳と一五万貫の豚肉を供給している。醤油は全国の二三%を占める。水産は豊富だ。海苔・蛤の養殖・鰯・鰹・鮪などの水揚げが多く、手賀沼・印旛沼での湖水漁業も盛んである。

工業は京浜工業地帯の一環として成長しつつあり、天然ガス・ヨードの産出は全国一を誇る。このように一応物産は豊かである。だから県民の気質は温和だが、一方、一貫した県人堅気に欠けるのだという人もいる。しかし、万葉集の手児名の歌にせよ、日蓮宗発祥の地であることにせよ、庶民的な気風も感じられる処である。

海蝕崖が切りたっている外房．太夫崎の小湾。

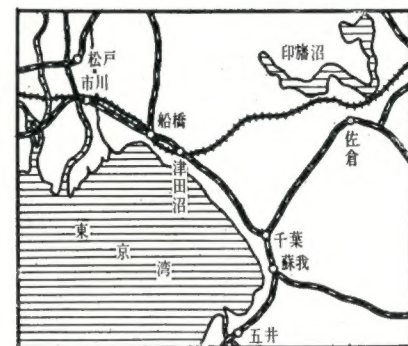
袖ヶ浦海岸，津田沼附近．東京の近郊農村地帯

東京湾沿岸

東京湾の北側から富津洲にかけて沖積層が広く分布する。江戸川・養老川・小櫃川はいずれも東京湾に注ぎ，河口は典型的な三角洲となっている。いずれも低い沃野・水田として広く利用されている。更にその延長は海中にのびる。干潮時には沿岸潮流の作用により海岸線とほぼ平行した干潟が二―四粁の幅で現われる。沖積層の土壌はまちまちで砂質・植質・有機質に富むものなど雑多であり，川から流れこむ栄養分と適度の塩かげんと相俟って海苔・蛤の養殖に適するという。これらの河川は陸上では谷津田と呼ばれる樹枝状の浸蝕谷をつくる。谷津田の谷底にも沖積層があり水田に利用される。台地の縁と極く低い土地との間には段丘が認められる。この段丘は土地の隆起によって生じたものと考えられている。

市川．東京の衛星都市．物価は県内最高という

松戸．江戸川ぞいの衛星都市．上野まで約25分

千葉へ向う街道．習志野附近．昔の陸軍演習地

昭和10年，国電千葉へ延長．沿線は東京への通勤圏となる

京成電車沿線の勤人たちは船橋で国電に乗りかえて都心へ

市川三本松，昔の街道

東京の台所，近郊住宅地

昭和10年国電は千葉まで延長された．市川・船橋・千葉市の人口は急激に増加した．いわゆる京葉地帯．東京への通勤圏といわれる．更に常磐線の電化，私鉄の発達により松戸・柏・成田方面にも通勤圏が拡大しつつある．千葉県は埼玉県と共に東京への蔬菜供給地となっている．特に東葛飾郡方面はこの色彩が濃く，直接東京へ出る行商人も多い．

シジミ売りの行商

1日10万貫という野菜が千葉から東京へ運ばれる

例えば銚子の鮮魚の8割がトラックで東京へ向う

千葉発6時15分荷物電車，行商人たちの専用電車

工場誘致の端緒．川崎製鉄の工事が進んでいる

都市計画．戦災前は無統制な迷路の町であった

昭和26年発表の千葉県綜合開発計画による埋立工事

地方色のある風景

千　葉　市

鎌倉時代は千葉氏の城下町だった．当時１万６千軒といい，おそらく関東一，二を争う都市だったろう．その後，千葉氏が居城を佐倉に移してからさびれ，江戸時代は寒村にすぎなかった．明治の初年に県庁がおかれ，今は人口14万の県下第一の都市．戦災で灰燼に帰した市街も都市計画で面目を一新しつつある．役所や半官半民の機関が非常に多いため，市民の過半数はサラリーマンだが，京葉工業地帯の一環として埋立地に川崎製鉄を誘致し，近代的商工業都市として生まれかわりつつある．昔から特色のある学校町だった．伝統を誇る千葉医大，写真や印刷方面で特異な存在だった東京高等工芸，日本で唯一の園芸専門学校だった千葉高等園芸，この三校は終戦後に合併して千葉大学となった．

軍機関のあった千葉市街の大半は戦災をうけた

'京浜工業地帯の東端' が千葉再建の目標という

干潟は2～4粁．アサリ・ハマグリ養殖に絶好

ハマグリの収獲

遠浅の汐干狩海岸．カナヅチにも安全な海水浴

海 苔・蛤・あ さ り

富津洲以北の東京湾では干潮時2粁におよぶ干潟面を利用して海苔・蛤・あさりの養殖が盛ん．養老川・江戸川から流れだす栄養分のある淡水，適度の塩かげんのおかげだという．浅草海苔の名で全国に有名である．夏のシーズンには東京から臨時列車も出て，潮干狩の人でにぎわうのもこのあたりである．浦安付近で養殖されるあさりの稚貝は，全国に配布されているという．

打瀬船．打瀬網をひき車エビなどを獲る

湘南にない風景

海苔網．ヒビに張る．彼岸ごろ海苔の種がつく

上総国分寺址

千葉県の歴史

すでに神代の頃、千葉県の北域に経営開拓が初まったという。香取神宮は経津主命を祀り鹿島と共に古い社である。成務天皇の頃から房総に国造が赴き世襲土着した。須恵・馬来田・上海上・伊甚・武射・印波・千波などの国造があり台地周辺にはその古墳が多い。大化改新（六四六年）により国造は廃止、あらたに国司・郡司がおかれた。国名の改訂廃合が行われ古の総の地が上総・下総・安房の三国とされたのは和銅・天平の頃であった。国ごとに国府が置かれた。仏教隆盛の時代に乗じ、国分寺・国分尼寺が国府周辺に建立された。上総は市原郡市原村・下総は東葛飾郡国分村・安房は安房郡館野村が政治・仏教の中心となり、繁栄した。万葉集に載る幾多の防人の歌は房総出身の防人のものも多いという。平安時代の中頃になると、社会制度維持の必要から地方の有力者

古墳（五井町附近）

金鈴塚（君津町）

は家の子郎党を養い、荘園をひらいて経済的基礎をもち勢力を振った。房総地方の豪族は平氏の姓をうけ房総武士の名は天下にひびいた。平将門もこの門の出と伝えられる。平忠常の反乱（長元元年）を期として源氏が権力を掌握し、忠常の子孫をとりなして千葉氏とした。一方、貴族社会に信仰を得た天台宗・真言宗は次第に堕落し、鎌倉時代には日蓮宗が庶民の仏教として信者を獲得した。房総には日蓮宗派の寺院が多く（清澄寺・誕生寺など）室町時代以降には中国九州にも勢力を拡げた。戦国時代には足利氏の関東管領となり関ヶ原合戦（慶長五年）の折、千葉氏は亡びた。徳川時代になると幕府は江戸安全のため房総に譜代の小藩を配し大名は置かなかった。幕府は江戸の安全と食糧確保のため利根川の治水に尽力し、新川を開き、新田を開拓した。治水開墾の必要から測量学・和算が発達し測量学の大家、伊能忠敬がでた。文化文政年間には外船がしばしば近海を脅した。佐倉藩主堀田正睦は外国との交易を主張し、蘭学を奨めたが幕府の採用するところとならなかった。明治維新となり廃藩置県の結果、今の千葉県の母体が生まれた。

古墳（国府台）

千葉一族の墓（千葉市）

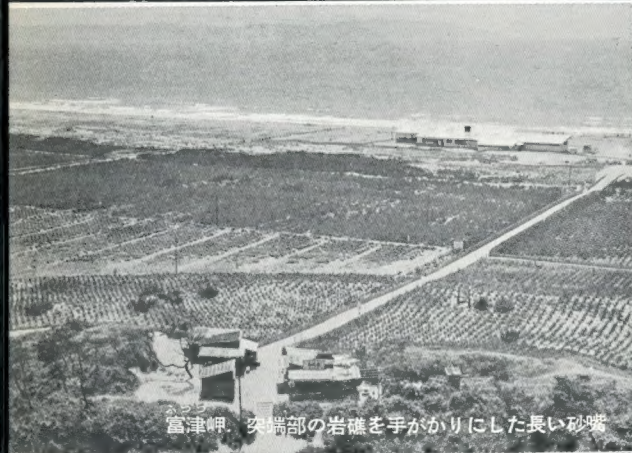
国府台

大厳寺（蘇我）、鵜の群棲地

湊川．地塁・地溝・傾斜地塊が錯綜する房総丘陵

房総丘陵

房総半島の南部一帯には房総丘陵地とよばれる山地がある。丘陵地の地層の大部分は第三紀層に属する鮮新世と三浦層群(三浦半島と同じ性質の地層)とからなるとされ、成田層群(成田市地方に標式的に発達する貝化石の多い砂層をさす)の下に重なっている。房総丘陵には鹿野山(三五二米)・清澄山(三八三米)・鋸山(三二九米)がある。一方、断層地形がいたる処に発達し鴨川地溝帯・北条地溝帯は標式的なものである。

鋸山より東京湾を望む．黒潮分流が北上している

富津岬．突端部の岩礁を手がかりにした長い砂嘴

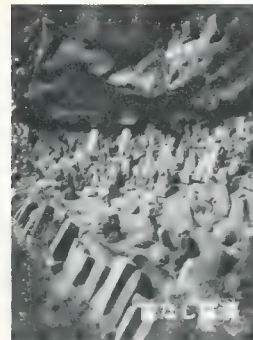
木更津．小櫃川の河口に近い港町．人口は約4万

全体的には鋸山—鴨川を境として地層は北西に緩い傾斜で重なりあっている。これがいわゆる単斜構造といわれるものである。このため上総・安房国境で降った雨は北西に流下して地下水となる。君津・市原・千葉郡方面にはその地下水を汲みあげる鑽井群が広く分布し上総掘りと呼ばれ全国に有名である。

「[illegible]な出てコイコイコイ」

木　更　津　市

木更津市は人口４万，県南の商工業の中心地であり，交通の要衝でもある．房総西線が開通する前は南房と江戸とを結ぶ船便の足がかりだった．今でも木更津と横浜の間には１日４～５本の船が通う．狂言「世話情浮名横櫛」は鶴屋南北の弟子，瀬川如皐（3代）が団十郎（8代）のためにつくったもの．童謡「証誠寺の狸囃」は市内浄土宗証誠寺の庭に伝わる狸の伝説から野口雨情が作ったもの．海岸は潮干狩や簀立漁の地でもある．

[illegible]と対して東京湾口の[illegible]

首なし羅漢

鋸　　　　　山

鋸山は標高 329 米，全山第三紀の凝灰岩で，戦前には建築用材として石材が盛んに切りだされたが現在ではセメントに押され気味だという．安房と上総の国境をなす鋸山は永い間，南北の交通をさまたげてきた．そこで上総の人は三浦半島と往来した．土地の老人は今でも安房の人を他国者と呼んでいる．鋸山頂上近くの日本寺は，五百羅漢で有名．縁起かつぎの人が羅漢の首をもいで帰ったため，今では「首なし羅漢」となった．

鋸山をぬいた周回道路

九十九谷　鹿野山の南斜面をこまかく刻んだ谷

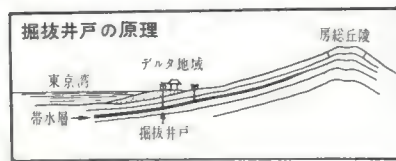
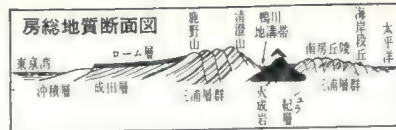
楊子作りの内職（久留里）

鹿野山・上総町

上総町は旧久留里町，古くは里見義実3万石の城下町．久留里城は明治年間に失火により焼失した．名産の楊子は，その昔，中以下の低禄の侍が内職にはじめたのが起りといい，黒文子として有名．しかし現在では数軒を残すのみだ．1日100円程度の手間賃では内職する人もすくなくなった．町内には町営の井戸4本があり1分間に約5斗の水量といい，町民の飲料水に供されている．鹿野山（かのうざん）は上総丘陵の最高峰（352米）．山頂まで自動車道路が通じ，日本武尊を祀る白鳥神社・上総の霊場神野寺があり，ハイキングコースともなっている．鹿野山の南斜面には九十九谷の奇勝があり浸蝕のすすんだ山容をみせている．幾たびか隆起をくりかえした地形は河岸段丘を発達させ，水田に利用されている．

あらゆる地層が北西に緩傾斜で重なっている

上総掘り

上総掘りの成因については前に述べた(一五頁)。上総掘りは文久一四(一八一三)年に君津郡中村の人、池田久蔵と孫の久吉、助手の池田徳蔵によりはじめられた。池田徳蔵は明治一九年頃、鉄骨づきの前身である竹骨づきを工夫し、さらに石井峰次郎は後揚足場といわれる装置を工夫した。

こうして君津郡中村には明治中期に用水井戸一五〇本が掘られ一二〇町歩の新田に旱害をなくしたといわれる。とくに君津郡を流れる小櫃川・小糸川流域には上総掘りが多く数十本を数えることが出来る。また他の井戸と違って地下三〇〇間ぐらいまでの掘下げが可能で、一分間平均四斗の噴水がある。水温が摂氏一五度ぐらいの低温であるため水田にひく場合、毎日注入場所を変えている。上総掘りは単に灌漑用水に利用される許りでなく飲料水としても広く使用されている。小櫃川流域の上総町(旧久留里町)には町営の井戸数本があり町民の飲料水に供されている。県内にはこれら上総掘りの業者数十名があり全国の温泉開発、さらに石油・ガス事業にも貢献している。なお千葉市内および銚子市・成田市などの水道も数本の掘抜井戸によっている。農林省一九四〇年の統計によると、全国で三〇米以上の掘抜井戸は一〇、六三一箇所あり、そのうち千葉県は四〇%の四、二五二箇所で第一位、新潟・三重・滋賀の各県がこれに次いでいる。

掘抜井戸(久留里)

地下水は地層に沿って北西に向って流れ下る

[illegible]の[illegible]を扼する[illegible]蝕崖の下に海蝕棚

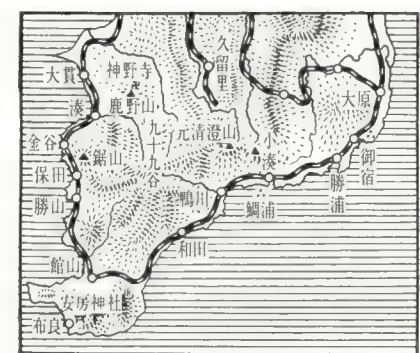
外房地方

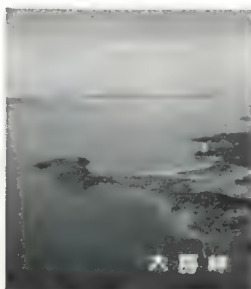
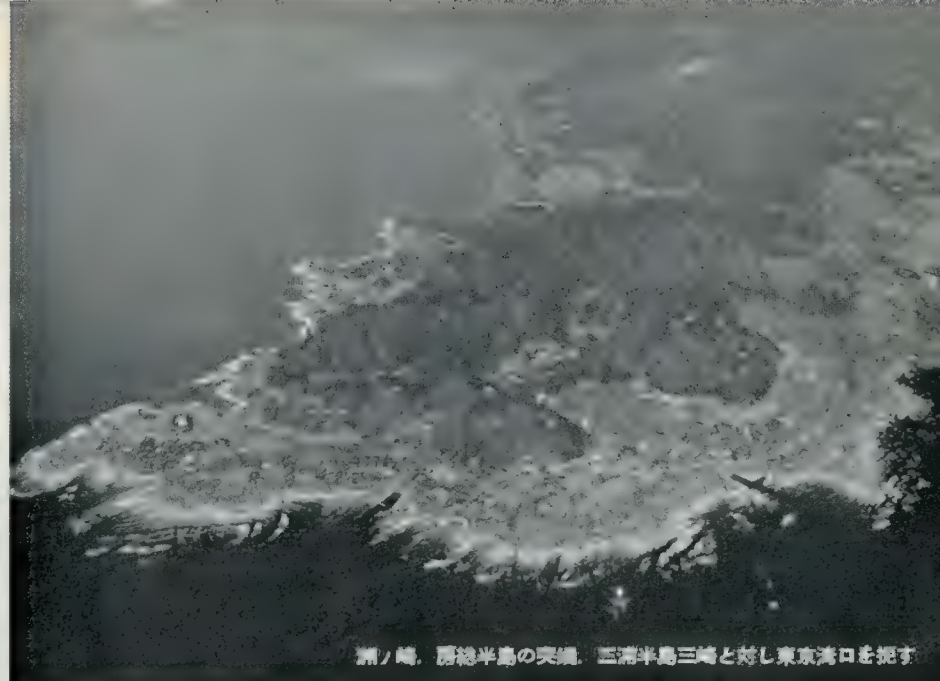
三浦半島と房総半島は鮮新世終り頃の造山運動によって一続きの山脈として出現したものという。この山脈の生成とほとんど同時に山脈の北側には一大陥没地が生じ、海水が侵入した。古東京湾といえるものである。古東京湾の入口は直接太平洋面にあったと考えられ、この古東京湾に堆積したのが成田層群で主に海成層として発達し浅海性堆積物が多い。その後、隆起運動と共に古東京湾は乾陸となり、続く地殻運動で現在の東京湾が現れたと考えられる。更に陸地が沈降し海水が利根川・荒川の谷に侵入し、最後に数米から数十米の隆起があった。大東・茂原などには隆起海岸堆積物が段丘となり現れた。いずれも砂・泥の層で多くの軟体動物・貝殻を含み、外房海岸には海蝕洞穴や海蝕段丘・波浪跡もみられる。

太東崎は九十九里砂丘と夷隅川砂丘とのあいだ

入道ガ岬．小湊の東を扼する．海中の島は雀島

オセ[illegible]十米の[illegible]

洲ノ崎の灯台

洲　ノ　崎

房総半島西南端洲ノ崎から布良・根本・白浜一帯は探勝や海水浴の好適地として知られる．洲ノ崎は三浦半島の三崎と相対して東京湾口を扼する．洲ノ崎から太平洋にでるあたりは潮の路といわれて漁師も恐れる難所という．大房岬は館山市の北，台地状の岬で，夏にはテント村で賑わう．野島崎灯台は慶応2年に英米仏蘭四ヵ国条約の折築かれた．

大房岬

洲ノ崎．房総半島の突端．三浦半島三崎と対し東京湾口を扼す

館山．背後の約10米の台地は隆起珊瑚礁．もとは海面下[illegible]0米

布良を出て東へ　房総一周の粗末な自動車道路

布良の辺りから外房磯浜の海女の姿を

白　浜　・　千　倉

白浜には以前，岩目港という漁港があったが関東大震災により隆起して港の価値がなくなった．そのため土地の男達は千倉港などから遠洋漁業に出る．平素は白浜には青年中年の男はみられない．白浜の海女は房州海女として有名だ．千倉は外房の漁港で鯖・さんまの漁期には数十万貫の水揚げがある．付近には千倉鉱泉があり神経痛・眼病に効くという．毎年11月下旬になると海浜で競馬が催される．

横浜部落　外房の海岸にはこんな漁村が並ぶ

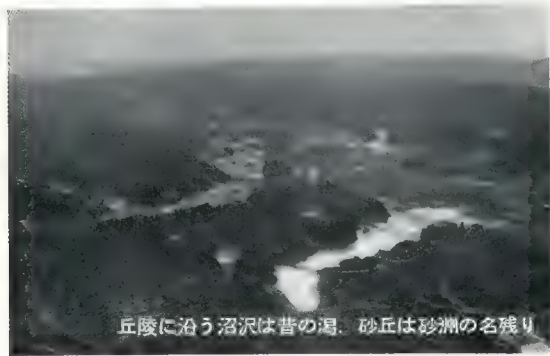
丸山川は横造線に沿いナシ棚をなして海へ

安房に逃れた頼

勝 浦・鴨 川・小 湊

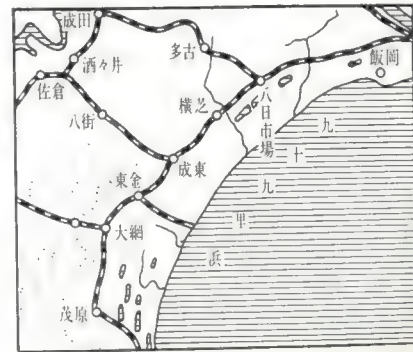
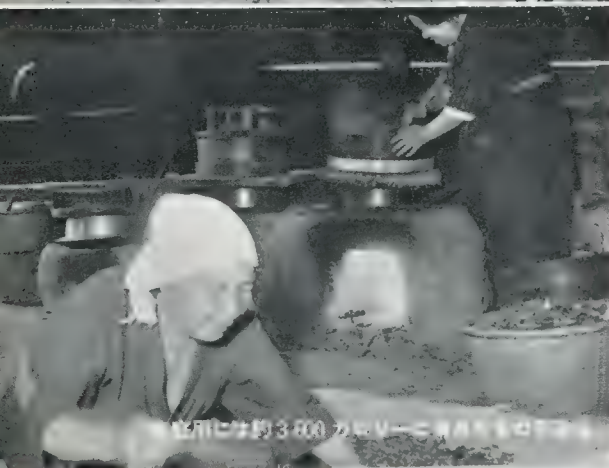
鴨川は房総西・東線の接続地．後背地に富み，風光にすぐれ観光客相手の旅館が多い．内浦湾の東側，入道ヵ岬の海中は鯛の名所．日蓮が漁獲を禁じたと伝え今も漁るものがない．水深25米．鯛は日蓮の徳を慕って集まるそうだが姿をみせない時もある．房総台地が太平洋に迫る興津町南方にオセンコロガシの難所，孝女おせん墜死の伝説を秘める．誕生寺は日蓮の弟子日家が建立したもの．清澄寺は日蓮が新宗教をひらいた故地．

九十九里浜　延長66粁，幅8〜12粁の砂丘が続く

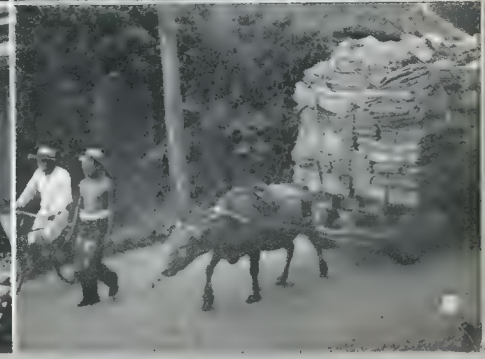
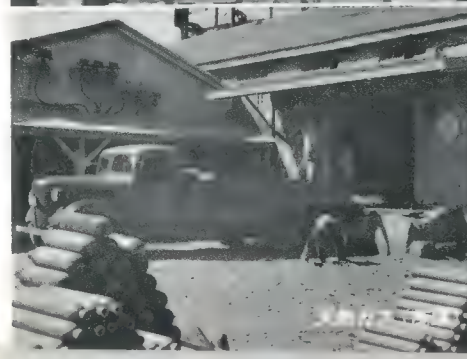
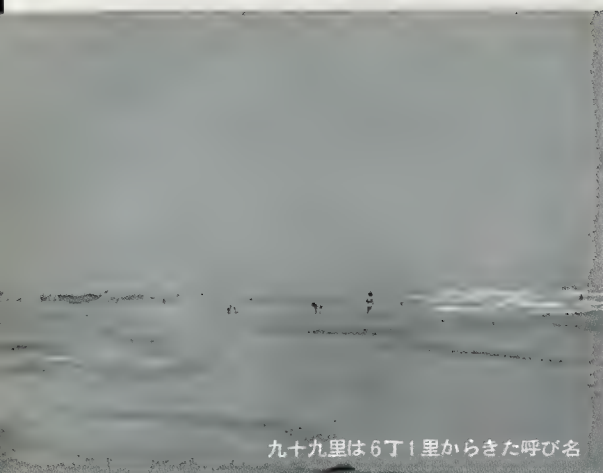
九十九里海岸

関東平野の台地は利根川・荒川などの河川で開析され、その流域には広く沖積地が発達しているが、沖積地と同時代のものに海岸平野がある。関東地方では台地が断崖となり海岸に懸っている処も多いが、台地と海岸との間に海岸平野が発達している処もある。九十九里浜海岸平野はその最も著しい例で、南は太東岬から北は飯岡まで弓を張ったような長汀である。西方台地との間は幅およそ一〇粁、長さ四〇粁の細長い三日月形の海岸平野(中洲)となっている。中洲には多数の砂丘列があり、砂丘の間には沼沢地が列をなしている。これらの沼沢地は台地を東流して来る小溪流が、海岸平野へ出ようとする処で砂丘のため堰きとめられて生じたものだという。溪流の河口は必らず銚子の方に向いている。潮の影響という。

砂丘に[illegible]陵には水田がよく発達している

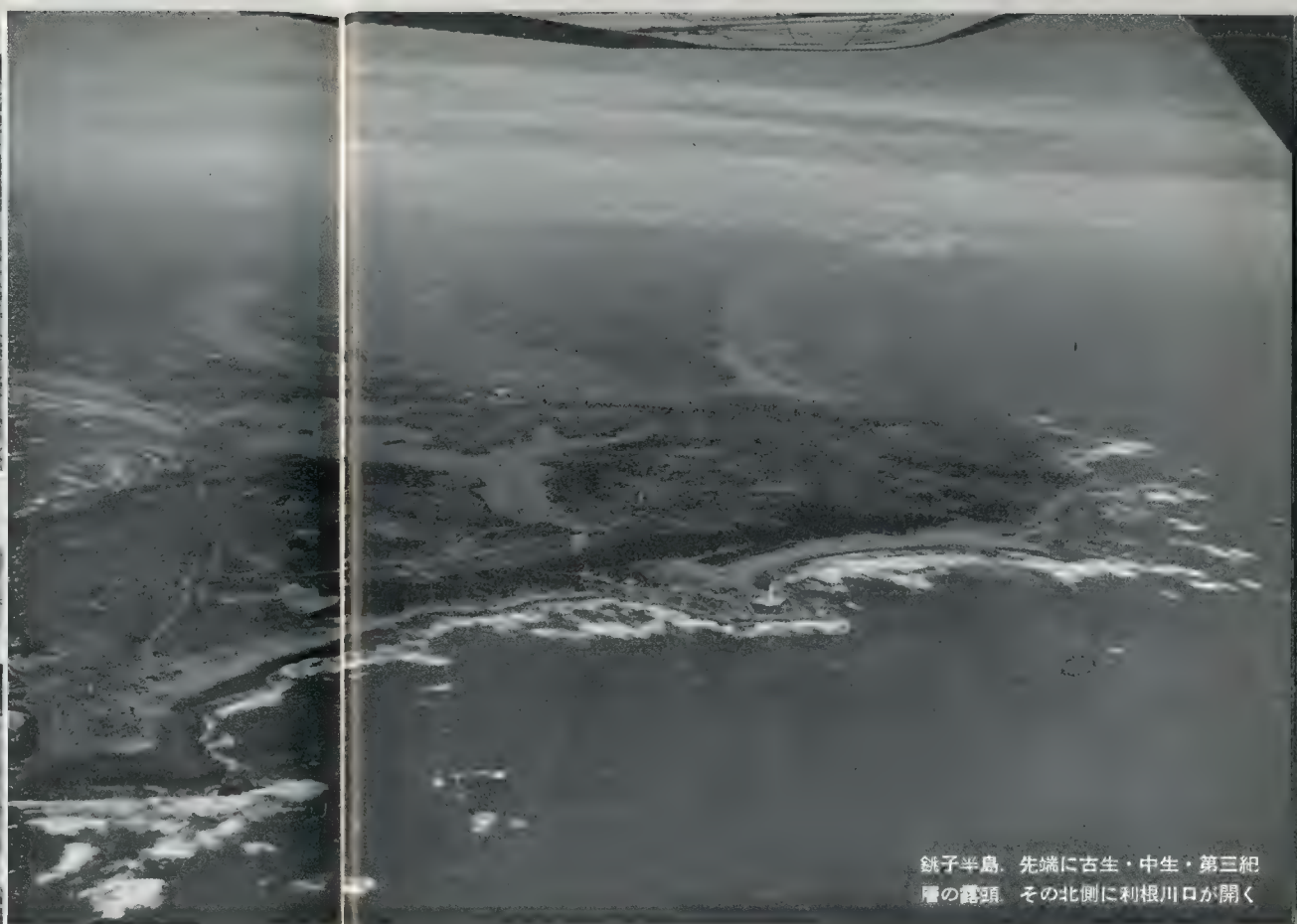
丘陵に沿う沼沢は昔の潟．砂丘は砂洲の名残り

落花生

天然ガス・落花生

天然ガスかん水が茂原を中心に県総面積の40%に分布しており，その中に含まれる天然ガスは650億立方米に達すると推定される．このかん水から生産される沃度はアメリカ・チリと並んで三大生産圏の一端を担っている．茂原市内には家庭用に天然ガスが供給され地方小都市の生活改善に役立っている．全国総作付面積の半分以上を占める落花生は本場物として高価である．

ガス灯

九十九里は6丁1里からきた呼び名

九　十　九　里　浜

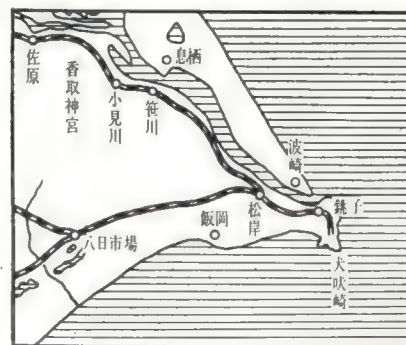
県の東北部行部岬から南は太東岬に至る66粁の海岸は大きく弧状をえがく．昔源頼朝がこの地に来て，臣下に命じ6丁毎に矢を立てさせたところ，99本目で東端の飯岡町に達したので九十九里浜の名が生まれたという．白里という部落があるが，これは百里に一里たりぬことを表わした名だという．海岸線に沿って砂丘地帯があり幅8～12粁に及ぶ．その背後には更に砂丘と沼沢が並行し沼沢は海岸より低い．砂丘側の干潟付近には水田が発達し，聚落は農と漁をかねているが，海岸では漁業が盛んである．有名な地引網は約200年前から大規模に行われ，網の持主を網旦那と呼んだ．地引と揚繰網によるイワシの産額は年十数万貫といい，煮干は九十九里の名物．しかし片貝町付近は実弾射撃場が造られたため漁場を荒され「死んだ海」とよばれた．

銚子半島．先端に古生・中生・第三紀層の露頭．その北側に利根川口が開く

銚子半島

関東平野の東端には鹿島灘と九十九里浜との間に拳のような形で太平洋に突出た銚子半島がある。この地域は三〇―四〇米の台地であり、表面はほぼ平坦で、台地の中にはところどころ開析されて出来た沖積低地がある。この台地には夫婦ヶ鼻・黒生・伊勢路・犬吠岬の四つの突出部があり、この突出部は懸崖をめぐらして暗礁が多いが、その間には砂浜が発達している。利根川の河口をへだてて北方には鹿島灘に面した長汀があり、南西方には断崖がつづき、屛風ヶ浦といって高さ凡そ五〇米の断崖をなしている。台地の表面はローム層におおわれ、その下には砂層がある。この二つの地層の下には古生界・白亜系・第三系の基盤があり、とくに半島の東方、南西方には古生・白亜・第三紀の岩石の露頭がみられる。

[illegible]

[illegible]ともいい崖に大きな穴がある

[illegible]された一灯台

銚　子　市

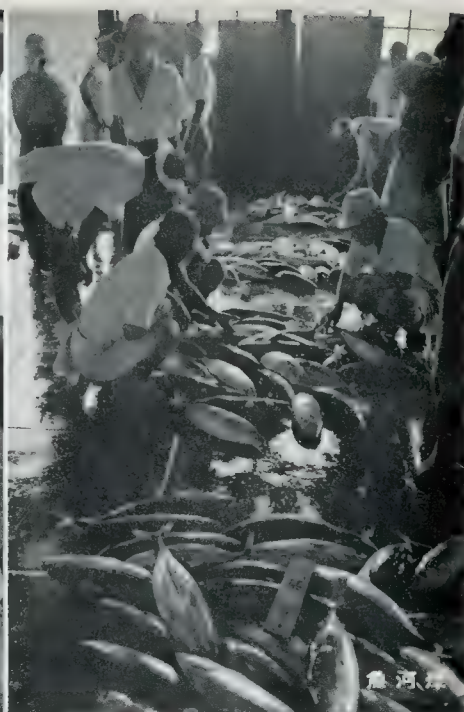
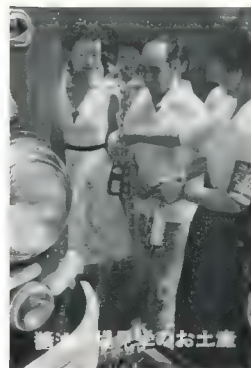
「ほととぎす銚子は国のとっぱづれ」の句のように銚子は日本最東端の都市．人口８万．古くは江戸初期に紀州人によってひらかれ，経済的には大阪，政治的には江戸と結びついて栄えた．万治元(1864)年のイワシ大漁の折には有名な「大漁節」がつくられ，奥羽・北陸・北海道の物資輸送・中継の河港として栄えた．明治以後鉄道の開通とともに漁港として生きており，犬吠岬が銚子の観光を代表している．

カンヅメ

魚河岸

[illegible]

カツオ節

醤油[illegible]見学のお土産

銚　子　の　産　業

銚子の産業はイワシと醤油が代表する．毎年数百万貫の水揚げをもつ魚は市内７鑵詰工場で処理し，更に北陸方面の魚も消化しうる余力をもつ．鑵詰製品の６割は東南アジアに輸出する．カツオ節・みりん干・肥料・造船所もすべて魚と結びつくし，銚子の街は魚で生きている訳だ．醤油工場も野田とともに多く，醤油工場見学も遊覧コースの一つだ．

漁網工場

[illegible]

[illegible]大工は約200人[illegible]

醤油の町．市内に製造業13社，従業員約2,000名

河口は[illegible]川幅400米，[illegible]

茨城県取手から利根川ごしに手賀沼をのぞむ

[illegible]15,443平方粁

利根川

上越国境大水上山に源を発する利根川は関東平野を横断して銚子の突端で太平洋に注ぐ。本流二九一粁、流域面積一五、四四三平方粁、支流一八五の大河である。坂東太郎の称がある下利根の沿岸は木下町から銚子港までの約六〇粁、最大の幅九粁余の低湿地帯をなし関東地方の穀倉であり、八月下旬には既に収穫が終る早場米の産地として名高い。この下利根低湿地帯が出来たのは古い事でなく、流れ海と呼ばれて太平洋に開口していた湖沼（現在の北浦・霞ガ浦などの前身）が鬼怒川の堆積作用によって陸化がすすみ、更に元和七(一六二一)年に東京湾に注いでいた利根・渡良瀬二川を鬼怒川につけかえてから急速に陸化がすすみほぼ現在の地形となったのである。日本水郷の風景は昔の湖沼時代のなごりである。

水郷大橋

自転車がわりの小舟

日本水郷

利根川下流・霞浦・北浦・与田浦・その他一帯の湖沼地帯は日本水郷の名で呼ばれる。佐原市を中心として、潮来から鹿島方面へのコースがいわゆる水郷めぐりである。交通は殆んど水上交通で、どの農家でも自転車がわりの小舟ーさっぱ舟ーで用を足す。舟の交通が主であるので陸上を結ぶ水郷大橋をはじめ潮来十二橋は橋げたが高い。遊覧船もこのあたりではエンジンをとめる。

水が飲料水として使用されているためである。洲の中の聚落は高い堤防で浸水を防いでおり水郷十六島の名がある。さっぱ舟は底の平たい小舟で米なら一〇俵、人は一五人程のれる。水郷には変った風物が見られる。便利屋さんもいて至急の用をつとめてくれ、巡廻の修理屋さんも舟でやって来る。沿岸の農家では片手間に釣の案内をやり、時には夜泊の便宜を与えてくれる。四季を通じて釣り人が多い。沿岸には柳やポプラが風になびき、真菰や葦が生い茂り、アヤメの花が咲き、その風俗が旅人の心をひく。対岸の潮来は香取・鹿島・息栖三社詣での船客の足溜りとして、利根川航行の寄港地として栄えた。

小野川が市中を[illegible]に注いでいる

佐　原　市

佐原市は人口３万，日本水郷の表玄関である．江戸時代には利根川下流の船着場として栄えた．今では水運を利用して米穀・繭の集散が活潑である．水郷地帯は情緒ゆたかだといっても洪水期にはいつも被害をうける低湿地で，家々は宅地に土を盛りあげ，堤を高くし水から逃れようと努力している．伊能忠敬は佐原の出身，日本中を測量し日本地図作成の大業をなしとげた．

伊能忠敬旧宅，玄関・書斎・納戸等５室24坪

[illegible]

[illegible]

佐原附近は一面の水田と運河[illegible]

[illegible]母着場，水郷物産の集散市場

印旛沼・佐倉市

台地の溺れ谷が利根川の土砂によってふさがれた湖が印旛沼だ．全湖面は沈水植物に被われ貝類や暖水性魚族が多い．古来この湖を干拓しようとしていずれも失敗している．佐倉市は人口3万6千，慶長15年土井大炊頭が佐倉城を築き，堀田11万石の城下町となり西の長崎とともに隆盛を極めた．承応年間，佐倉領主の暴政に苦しむ389村の領民のため将軍家綱に直訴して極刑に処せられた義民宗吾は渡守甚兵衛と共に「佐倉義民伝」で人口に膾炙している．

…と信者の数を競っている

成　田　市

成田市は新勝寺の門前町だ．成田山新勝寺は四国の金刀比羅様とともに二大不動に数えられる．新勝寺は開山以来千余年，特に江戸時代になってから隆盛を極めた．佐倉城主稲葉・堀田両氏も尊崇した．現在参詣者年間７百万を数える．成田駅から門前まで１粁余の間には店舗が軒を並べる．寺で幼稚園から高等学校までの教育施設・図書館・社会事業施設を経営し，地方文化に貢献するところが大きい．

野田．人口４万．江戸川東方の醤油の町

醤油発祥の地

江 戸 川・野 田 市

「江戸紫」で有名な野田市は人口４万，県北西の主要都市である．野田の醤油は江戸中期から創められ，特に江戸という大消費地を控えていること，江戸川の水運が便利であったことで発達した．以前は近在の大豆・小麦を原料にした．銚子と共に全国の23％を供給する．江戸川は江戸への交通を便にするため寛永年間に開さくされた人工河川で利根川の放水路でもある．海と江戸川・利根川でこの県は四面を水に囲まれる訳になる．

御用倉．宮内庁御用の醤油を貯蔵するところ

野田は銚子とならび全国の醤油の23％を生産

江戸川改修工事

江戸川取入口．流域面積170平方粁．流路60粁

江戸川は寛永以降開鑿された利根川の排水路

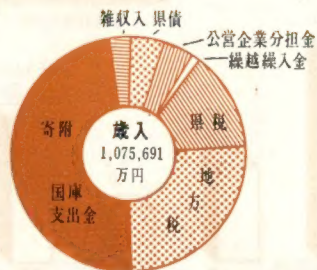
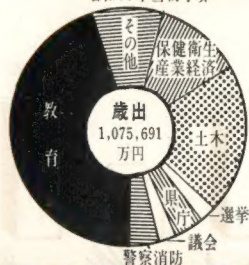
千葉県の財政

昭和30年当初予算

歳出 1,075,691万円

教育
その他
保健衛生 産業経済
土木
選挙
県庁
議会
警察消防

歳入 1,075,691万円

雑収入
県債
公営企業分担金
繰越繰入金
県税
地方税
国庫支出金
寄附

職業別就業者の割合

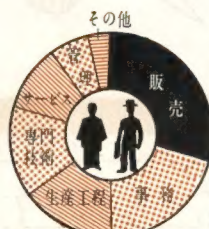
（昭和25年10月1日現在）

農林水産従業者

第一次産業（農林水産業）

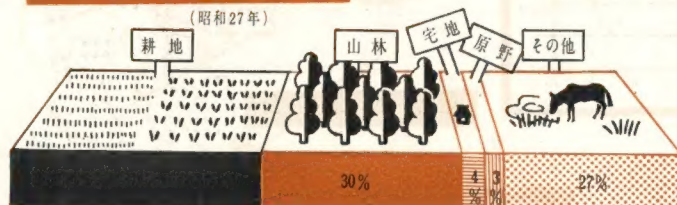
販売
その他
単純労働者
事務
運輸
生産工程従事者
特殊技能工

第二次産業（鉱工業，建設業）

その他
販売
事務
生産工程
専門技術
サービス
運輸

第三次産業（商業，運輸通信業，公務，金融，サービス業）

土地利用状況

（昭和27年）

耕地
山林 30%
宅地 4%
原野 3%
その他 27%

農地用面積

（昭和27年2月1日現在）

田 53.1%
畑 37.4%
宅地 8.5%
樹園 1.0%

千葉市は工業都市として発展しつつある

岩波写真文庫目録

新刊

262 263 264

*印は品切でございます

野菜収穫高(農林省統計による)

昭和15年＝100

にんじん 271
西瓜 82
里芋 59
ほうれん草 157
なす 109
ねぎ 65
大根 128

あさり・はまぐり漁獲高

(昭和28年)

12 10 8 6 4 2 0
昭15 20 25 28
はまぐり
あさり

海苔生産高

(昭和28年)

全国 955百万枚
千葉 26%
愛知 23%
熊本 18%
三重 9%
広島3 宮城4%
その他 17%

醤油の出荷先

単位●＝5000石

千葉県工業製品の輸出(醤油,かんづめ)

その他16,000万円
1,372石
19,911ケース
その他 13,000万円
88石
6,065ケース
2,658石
94,554ケース
3,757ケース
4,786石
その他 65,000万円
その他 9,000万円

九十九里浜

¥ 100